

放水路の整備など水害の軽減により産業立地を促進



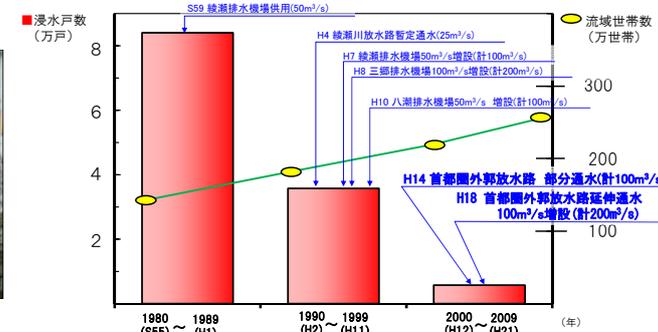
首都圏外郭放水路(埼玉県)

- 中川・綾瀬川流域は、水が流れにくい地形的な特徴や都市化の急激な進展によって、これまでしばしば浸水被害が発生
- このため、放水路や排水機場の整備などの治水施設の整備を行うとともに、浸透ますの設置や盛土の抑制等によって流域の保水・遊水機能を確保するなどの総合的な治水対策を実施
- これまで整備してきた治水施設の一つが「首都圏外郭放水路」。完成以来、毎年平均約7回稼働し、浸水被害が大幅に減少
- これらの対策の結果、浸水被害が軽減し、1980年代は10年間で8万戸を超える浸水被害が、近年では1/10以下に
- 地元自治体では、「水害に強い都市基盤」を持つ地域であることを広報して企業を誘致。物流倉庫やショッピングセンター等が立地

中川・綾瀬川流域における治水対策の推進に伴い浸水被害が軽減



1991年の水害の様子(春日部駅前)

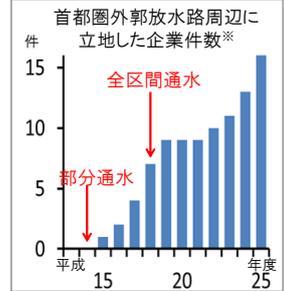


※浸水戸数は、経年経理平均雨量100mm以上の出来を対象に、水害発生および浸水戸数を集計。浸水被害の発生は、個別発生地帯から、M00地区の河川開通前後を対象に集計

首都圏外郭放水路の整備など水害の軽減により産業立地を促進



「水害に強い都市基盤」を広報し企業を誘致(春日部市HPより)



※ 春日部市が公表した産業立地状況のデータ。平成15年以前は公表されていない。



外郭放水路が通っているため、水害の発生の危険性がないと考え災害にも強いまちであると実感しております。

(株)玉後工業所 <流通>

世界最大級の地下放水路である首都圏外郭放水路が通っているため、自然災害(大雨など)で商品が浸水するのを防ぎ、万全の状態です。管理体制作りできる点が立地して良かったと思います。

(株)小原運輸倉庫 <運輸>

世界最大級の首都圏外郭放水路が通っているため、自然災害(大雨など)で商品が浸水するのを防ぎ、万全の状態です。管理体制作りできる点が立地して良かったと思います。

(株)T&S <卸売業>

進出企業からは、「水害に強いまちであると実感」などの声(春日部市HPより)

